

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア
評価実施年月日	令和7年8月31日
評価者氏名（職名）	金川 めぐみ（和歌山大学教授）
評価対象年度（期間）	令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	✓	□	☑	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	✓	□	☑	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
✓	□	☑	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目			法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：移送部	45%
		第2位：清山荘	40%
		第3位：お助け	5%
		介助部	5%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外（管理部門等）			5%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「ー」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☑	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	✓	□	☑	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☑	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	✓	□	☒	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	✓	□	☒	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	✓	□	☒	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	✓	□	☒	□
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	✓	□	☒	□
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	✓	□	☒	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	✓	□	☒	□
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	✓	□	☒	□
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	✓	□	☒	□
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	✓	□	☒	□

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	✓	□	☒	□
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	✓	□	☒	□

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	✓	□	☒	□
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	✓	□	☒	□

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	✓	□	☒	□
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☒	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	一般市民
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	・送迎用マイクロバス等に募金箱を設置 ・イベント、教室での寄付募集
③ 評価対象年度における寄附者の人数	5人
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 個人への呼びかけ、善意の少額寄付にとどまっている為
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	法人等へ活動内容説明を行い、賛同を得て、寄附獲得を図りたいが、人員、時間的に余裕がない。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	✓	□	☒	□
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	✓	□	☒	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人數、従事時間数、従事内容など)	行政から補助金の支援
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	法人に賛助会員になってもらうための依頼活動
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	支援依頼を行うスタッフ不足

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

令和6年度の事業実施報告書を見ると、1運転部、2介助部、3企画部、4せいざん（清山荘）の4事業が実施されており、いずれの事業も本NPO法人の活動意義をよく理解し実施されている。上記事業の成果として、主要事業である①の「運転部」事業は、令和6年度利用会員約1,319人、総送迎回数36,364回と堅調であり、本事業の成果は大きい。また②の介助部における市立病院の病院介助ボランティアの安定実施や、④のせいざん部門の管理における実績は入館者前年度比99.3%とほぼ令和5年度の来館者数を維持している。団体の活動趣旨を理解し適切な活動をされており、事業運営費に見合った活動実績を上げており成果がある。

そして社会に対しての活動成果の発信として、清山荘の運営管理を通じて、つどいの場を活用することにより特に綾部市民に対し情報発信を積極的に行っていることが事業報告書からわかる。令和4年度より再開した「せいざん・ユニセフまつり」は令和5.6年度も引き続き実施され、令和6年度は実績517人の来場者数を得た。

HP (<https://www.ayabe-wf.net/>) も閲覧者にわかりやすく作成され、新着情報の発信についておりこの点を高く評価できる。合わせてさらに身近な広報媒体としての会報等の定期発信に努めて頂きたい。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

同法人の理事会議事録、総会議事録、事業報告書等の各種書類を確認したところ、財務管理の透明性について問題ない状況であった。

また組織運営の体制等も、各種書類を確認したが、いずれも問題ないと確認できた。

情報公開についてであるが、事業報告書などもきちんと作成できており、こちらの適切性についても十分であると考える。

コンプライアンス（法令遵守等）については、同法人の服務規程および会員への研修会の内容を確認した。特に福祉有償運転を実施する事業を有するNPOとしては、安全管理やリスクマネジメントは大事な要素だが、この点も令和6年度の安全運営管理者講習会や会員研修の中で実施されていることが確認でき、適切に配慮されていると考える。

また、組織運営の透明化のためには、会員相互の意思疎通が図られているかが重要な要素であるが、令和6年度においても、「ボランティア交流会」や「運転部意見交換会」等、会員の意見をくみ取る場の設定が工夫されており、この点についても問題ない運営がされていると考える。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかな。

本外部評価書にも記載があるように、寄付を獲得する為の取組として、送迎用マイクロバス等に募金箱を設置したり、イベント、教室での寄付募集を随時行なっており、法人に対する支援として寄付を受けるための工夫の取組は一定程度行なっていると考えられる。

また寄附以外の支援として、運転部を実施するためには継続的な人的支援の確保（運転会員の維持・増強と質の担保）が大事になってきており、その点もフロンティア講習会などの機会を踏まえて実施されていると考える。

今後は法人におけるイベント実施等のさまざまな寄付の機会をとらまえて、さらに多くの寄付や寄附以外の支援も実施も着実に行えるよう、法人内部での検討を引き続き進めて頂きたい。

令和6年度、本団体は創立25周年を迎えた12月15日には記念式典の開催、および記念のリーフレットも発行された。リーフレット中において法人の現状と今後の方向性を適切に分析されている。地域に根差したNPO法人として、その活動内容の意義は深く、これまでの活動実績を評価するとともに、さらに必要とされる地域ニーズを敏感に把握しながら、更なる活動を継続していかれることを期待する。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
会報等の定期発行について	現在、「清山荘ってどんなところ」という写真等を多用した冊子を作成中であり、また、年2回の清山だよりを作成予定。入館者を増やし清山荘の更なる利用率向上に取り組んでいきたい。

備考（審査委員会のコメント）

この様式について

- 京都府又は京都市の条例指定を受けたN P O 法人（特定非営利活動法人）の外部評価を実施する際の基本的な評価項目を提示したものです。
- 所轄庁（京都府又は京都市）に提出された評価結果は、京都府・京都市の審査委員会に報告するとともに、所轄庁において一般に公開します。
- 記入欄の大きさは、適宜調整してください。また、他の評価項目が必要な場合は、適宜項目を追加してください。

記 入 要 領

- ① まず、外部評価を受ける**評価対象法人**が、1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄のうち、「**法人自己評価**」欄に自己評価結果を記入してください。
また、1ページの1（1）イの主たる事業等に割く労力の割合に関する表及び3ページの「**2 法人に対する支援の状況**」の二つの「**法人記入**」欄についても、評価対象法人が記入してください。
- ② その後、**評価者**が1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄の「**外部評価**」欄（太線枠内）に外部評価結果を記入してください。
また、4ページの三つの所見欄「**3 法人の事業活動に関する所見**」、「**4 法人の組織運営に関する所見**」及び「**5 法人に対する支援に関する所見**」（太線枠内）には、チェックリストの評価項目を含め**評価者**が評価した結果について、それぞれ分けて記入してください。
- ③ 5ページの「**評価対象法人記入欄**」の「**6 外部評価結果への対応状況**」に、外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況について、外部評価を受けた**評価対象法人**が事項ごとに分けて記入してください。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 花山星空ネットワーク
評価実施年月日	2025年6月23日
評価者氏名（職名）	太田 耕司（京都大学大学院理学研究科教授）
評価対象年度（期間）	2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目		法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	第1位：天体観望会事業	30%
	第2位：天体観測体験教室	25%
	第3位：刊行物やHPによる情報発信事業	15%
	このほかの事業	10%
	主たる事業以外の事業	—%
事業以外（管理部門等）		20%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「—」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・

意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	当法人会員、イベント参加者
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	会誌毎号に「寄附のお願い」と郵便振込用紙を同封 ホームページでの募集 イベント参加者への呼びかけ
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：のべ 76 人 金額：1,223,000 円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・○増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由>会員への呼びかけを行ったため。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	会員・イベント参加者以外へ寄附依頼を広げる必要性がある。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人 数、従事時間数、従事内容など)	ボランティア従事人数：のべ 75 人 従事時間数：450 時間 従事内容：天体観望会で受付・引率・説明・望遠鏡での観望指導
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	京都市市民活動総合センター及び CANPAN 提供の補助金・助成金情報の取得、子どもゆめ基金・大同生命厚生事業団からの助成金獲得

③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	助成金申請、寄附サイトへの申請を行っているが助成にまでには至らないことが多い。
-------------------------	---

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

京都大学理学研究科附属花山天文台の天体観望会などのイベントにボランティアを供給するなどして、協力をしている。また、京都大学学生邦楽演奏サークル「叡風会」と連携し、名月の天体観望会において邦楽演奏と組み合わせるなどを継続して積極的に実施していることを評価したい。なお、それぞれの行事は天文台と連携して開催されている。

また、京まなびネット、京都市市民総合活動センター、Canpan、京都市山科区の事業であるアプリ「やましなプラス+」に観望会・講演会などのイベント情報の掲載を依頼して地域へ活動を発信している（「やましなプラス+」は24年末で終了）。

さらに、新聞各紙へ依頼しイベントの案内が掲載されている。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

事業報告書・活動計算書・貸借対照表・財産目録がホームページで一般に公開されていて財務管理の透明性が保たれている。

理事会の開催については、2024年度は第62回（4月16日）、第63回（9月9日）、第64回（12月18日）、第65回（2月5日）と4回開催され、それぞれの理事会では議事録が作成されていて、理事会は正常に機能していると考える。

総会の開催については、第17回通常総会が2024年6月9日（日）に開催されている。書面表決者を含む過半数の正会員が出席し、2023年度事業報告・活動計算書、2024年度事業計画と活動予算書及び監事2名が1名への変更が可決承認され、議事録が作成されている。通常総会に先だって監事1名が活動計算書及び財産管理について監査を実施した上で、その結果を書面で報告している。

2023年度の財務状況では、大きな赤字となっていたが、人件費の抑制、通信費の削減などを工夫し、2024年度の財務状況は大きく改善されたことは評価される。引き続き、印刷費の削減（或いは販売数増加）等今後とも財務状況が安定するよう努力を続けて欲しい。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成金からの助成が2件続いて得られている。2025年度も子どもゆめ基金助成金からの助成が2件決定している。

また、新たに大同生命厚生事業団からの助成金を獲得している。今後とも補助金・助成金の獲得に励んで欲しい。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
会誌の印刷費の削減について	会誌は会員とNPOを繋ぐ重要なもので本来、会費で運営し、充実させるべきものですが、現在、一定のページ数にするなどの工夫をしています。また、過去に減った広告を再度増やす努力を続けていきたいと考えています。
補助金・助成金の獲得について	民間助成金については応募をしていますが、獲得するに至らないことが多いですが、今後とも補助金・助成金の獲得に努めていきたいと考えています。

備考（審査委員会のコメント）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価実施年月日	2025(令和7)年 7月 4日
評価者氏名(職名)	志藤 修史(大谷大学 教授)
評価対象年度(期間)	2024(令和6)年度(2024年4月1日~2025年3月31日)

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目		法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	第1位：ひこばえ事業	25%
	第2位：児童館事業	25%
	第3位：放課後等デイサービス事業	25%
	第4位：就労継続B型事業・生活介護事業	25%
	主たる事業以外の事業	%
事業以外(管理部門等)		%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外(管理部門等)への従事時間数の割合

(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「-」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	会員 利用者
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	ホームページなどでも呼びかけるが、アナログ作戦で、寄附の趣旨を印刷した封筒など 昨年度クレカ決済ができるシステムを導入した。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：120件 金額：847,198円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から（78人 866,602円） (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 寄付額としては減少しているが、より多くの人から寄付をいただけたことを評価している。寄付封筒キャンペーンの効果があった
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	同じ人や役員からの繰り返しの寄付にとどまっている

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人數、従事時間数、従事内容など)	(ボランティアの場合 従事人數：217人 従事時間数：445時間 従事内容：学習支援、文庫、食堂などボランティア)
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	当法人では地域住民の集まるサークル活動などがあることから、地域の支援者も多い。自主事業を丁寧に行っていくことが工夫の一つと考えている。

③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	法人の活動趣旨である住民参加のかたちとしてのボランティアの概念への理解と浸透
-------------------------	--

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

(1) 活動の意義・成果等

法人設立から20年を迎えるにあたり、今後の事業展開について外部のコンサルに入ってもらいつつ法人活動と業務における職務分掌を見直しが行われたことは評価できる。赤ちゃんからお年寄りまでの居場所づくりの追求はカフェの改築などにより新たな展開がスタートしている。児童館やB型事業所における、学習支援や食堂事業を通じて、多世代交流の萌芽見られる。今後も地域に密着した全世代型の居場所づくりの進展を期待する。なお、こども家庭庁の視察の受け入れなどで、事業内容の社会的な重要性の発信ができたことなどは大きな成果と考えられる。

(2) 社会に対しての活動成果の発信

活動成果の発信等については、HP、機関紙「フォーラムひこばえ」、月刊「うたの・ひこばえじどうかん」報などによって定期的に発信されている。地域社会の重要な社会インフラとして周辺地域からは認知されている状況の中、法人情報の公開・発信はいよいよ重要になっている。HPの充実、機関紙「フォーラムひこばえ」の発行頻度の拡充などを含む広報体制の強化は引き続きの課題である。

(3) 地域団体等の他団体との連携

コロナ以降中止していた「ひこばえまつり」が再開された。祭りの実行委員会では、職員が地域の人を巻き込む経験などを積んでいくことを重視した運営を行うなど、地域に根差した行事の実施を企画されている。これらの活動を通して多世代の人たちの地域での参加が広がるとともに、法人の事業や活動が地域の人びとの共同の地域づくりであることの理解が少しずつではあるが、着実に広がってきてている。

4 法人の組織運営に関する所見 ※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

(1) 財産管理の透明性

2024年度会員総会において事業報告及び決算書、事業計画及び予算、監事監査報告書が審議、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

(2) 組織体制について

①総会・理事会

定款に基づき総会、理事会が運営され、それぞれの機関で適切に審議、意思決定がなされている。議事録も適切に作成され、保管されている。

②監事・監査

監事は第三者性、公正性を確保しており、定款に定める職務を遂行している。

③事務局体制等

2022年度から経理専門職員が配置され、さらに2023年度末から庶務・総務・労務担当職員が配置され、法人本部機能が少しづつ整備してきたことは前進である。

法人は拠点施設がほぼ整い、長期の事業展開の土台がてきた。前年度に指摘されている、中長期計画を策定し、その下で単年度計画を推進するという事業経営のあり方を確立する時期に来ている。この間、中長期計画策定の努力はなされ、理事長による「経営指針書」という形で中長期計画の素案づくりは行われたが、法人として理事会で協議決定した中長期計画とはなっていない。中長期計画の策定は特定の部署や個人に任せるのでなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していく、それを理事会や総会でオーソライズすることが必要である。そのためには昨年度も指摘したがいくつかの課題がある。1つは理事会における中長期計画策定についての合意形成であり、2つは職員研修における法人ミッションの再確認であり、それに基づいた職員集団での中長期計画の素案づくりの推進である。3つはそのためには事務局機能のさらなる強化が必要となる。このように中長期計画の策定も法人ミッションの共有も事業拡大のなかで、増大する職員が一つにまとまるために欠かせない課題である。さらに中長期計画の検討を通じて法人形態のあり方も課題となってくることは、引き続きの法人の課題である

④ 職員体制

前年度の指摘と同じく、事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。職員が集団のなかで力を発揮できるように、職務分掌の明文化と浸透が課題となっている。また法人も開設から20年が経過するなかで、世代継承を意識した管理職層の形成が課題となっている。そのためにも職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような人材育成の仕組みとともに体系的な育成プログラムづくりを急ぐ必要がある。

⑤危機管理体制

コロナ禍だけではなく他の感染症や自然災害による事業休止のリスクは高まっている。2023年度の作成のBCPについては、実際の研修などを通じた検証作業を進める必要がある。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

この間、施設整備に当たって多くの人びとに寄附を呼びかけ、多くの寄付や支援者を得てきた。それは一過性の施設整備という分かりやすい目標に対する寄付や支援であったが、前年度からは日常的な事業や活動に対する恒常的な寄付や支援を呼びかけるものとなっている。結果としては、前年度同様今年度も寄付額は減額している。しかし、法人の日常的な事業や活動に対する恒常的な寄付や支援を広げていくための呼びかけや広報は功をそうし、若干ではあるが寄付者数が増加している。今後も寄付額もさることながら、寄付者数を増やす努力に注目した活動を展開すべき時期に来ている。今まで以上に法人のミッションを見る形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。特に自主事業は法人のミッションの見せ場でもあり、利用者や地域住民とともに事業や活動の中味をつくり、財政的にも安定させることは、法人の今後に向けての試金石ともいえる課題である。こうした取り組みのもつ重要性を職員集団だけでなく、会員、利用者等のなかで共有できるようにして欲しい。

財政運営に関しては、今年度をもっての「いばしょ事業」の終了、法人独自事業における収支赤字、拠点施設整備における借受金の返済など今後の運営上懸念される内容が散見される。法人事業全体の有機的な連携、地域支援者の拡大を法人役職員一丸となって進めていく必要がある。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>中長期計画の策定は特定の部署や個人に任せるのではなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していく、それを理事会や総会でオーソライズすることが必要である。そのためには昨年度も指摘したがいくつかの課題がある。</p> <p>1つは理事会における中長期計画策定についての合意形成</p> <p>2つは職員研修における法人ミッションの再確認であり、それに基づいた職員集団での中長期計画の素案づくりの推進</p> <p>3つはそのためには事務局機能のさらなる強化が必要となる。このように中長期計画の策定も法人ミッションの共有も事業拡大のなかで、増大する職員が一つにまとまるために欠かせない課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでに 2026年3月 計画骨子 10月 計画立案 ・継続の頻度 毎年見直し、5年に1回 3年後、5年後、10年後のスケッチと それに伴う財務計画 ・作成にあたっては、リーダーを中心とした作成委員会を結成し、役員会の合意を経て完成させていく ・項目については 法人運営 自主（ひこばえ）事業 公的制度に基づく事業
<p>前年度の指摘と同じく、事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。職員が集団のなかで力を発揮できるように、職務分掌の明文化と浸透が課題となっている。また法人も開設から20年が経過するなかで、世代継承を意識した管理職層の形成が課題となっている。そのためにも職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような人材育成の仕組みとともに体系的な育成プログラムづくりを急ぐ必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職務分掌の明文化と浸透 策定した職務分掌の共有とそれに基づく評価 法人ミッション浸透のための・・・座談会や 勉強会を開催する ・人事、研修委員会 人材育成システムの構築 運営委員会にて策定予定
<p>2023年度の作成のBCPについては、実際の研修などを通じた検証作業を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度防災委員会でのミッションとなって いる 2025年度中に検証作業をすすめる

<p>今後も寄付額もさることながら、寄付者数を増やす努力に注目した活動を展開すべき時期に来ている。今まで以上に法人のミッションを見る形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。特に自主事業は法人のミッションの見せ場でもあり、利用者や地域住民とともに事業や活動の中味をつくり、財政的にも安定させることは、法人の今後に向けての試金石ともいえる課題である。こうした取り組みのもつ重要性を職員集団だけでなく、会員、利用者等のなかで共有できるようにして欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付者への報告を行う 寄付がどれぐらい集まっているか 寄付を使ってどんなことをしているか ・寄付者への事業進捗状況の報告 2025年11月に新たな寄付のお願いと報告
<p>年度をもっての「居場所事業」の終了、法人独自事業における収支赤字、拠点施設整備における借入金の返済など今後の運営上懸念される内容が散見される。法人事業全体の有機的な連携、地域支援者の拡大を法人役職員一丸となって進めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体 諸経費の節約 予算の計画的な執行 効果的な寄付集め ・公的事業 【児童館】学童利用者増 ニーズから新規事業へ 【放課後】利用者数維持+α 体制の維持と開所日数増への取り組み 【就労】新規利用者+3名/日を目指して広報、拠点送迎などの工夫 【生活介護】利用者増に向けての取り組み ・自主事業 Café を使っての自主事業展開 売店での収益 地域住民組織化を目指して

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 F a S o L a b o 京都
評価実施年月日	令和 7 年 6 月 25 日
評価者氏名（職名）	杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）
評価対象年度（期間）	令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	■	□	■	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	■	□	■	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
■	□	■	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目		法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：(地域子育て支援拠点事業)
		40%
		第2位：(食物アレルギーサポートデスク)
		30%
		第3位：(若者研究)
このほかの事業		10%
主たる事業以外の事業		%
事業以外 (管理部門等)		20%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「ー」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	■	□	■	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	■	□	■	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	■	□	■	□
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	■	□	■	□
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	■	□	■	□

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	■	□	■	□
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	■	□	■	□
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	■	□	■	□
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	■	□	■	□

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	■	□	■	□
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	■	□	■	□

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	■	□	■	□
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	■	□	■	□

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	■	□	■	□
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	■	□	■	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	食物アレルギー支援を行う企業、食物アレルギーに関心がある人、当法人のイベントに参加した人、つどいの広場利用者など
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	寄付サイト（コングラント）、イオンレシートキャンペーンへの登録、H2O サンタ NPO フェスティバルや学会への出展の他、ホームページ・ニュースレター、イベントでの呼びかけ。地域のお祭りでの啓発活動による募金活動など。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：6社3団体32名 金額：472,386円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 当法人の理事や、少額ながらも地域のボランティアやつどいの広場利用者からの寄附が多くあったため。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	少額の寄附も引き続き積み重ねていき、団体の活動内容と合わせて、その活動が寄附で支えられていることへの認知を広めていく必要性がある。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	■	□	■	□
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	■	□	■	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人數、従事時間数、従事内容など)	【補助金・助成金】 2024年度第1期ニッポンハム食の未来財団 団体活動助成、ファイザープログラム「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」による助成 【ボランティアの状況】

	<p>従事人数：22名 従事時間数：347.5時間 従事内容：イベント開催時の準備・当日運営の補助、つどいの広場での来所者対応、事務作業補助 【企業・個人による食物アレルギー配慮商品の提供】 4社1団体 60,371円</p>
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	インターン大学生の受け入れによる活動の周知 イベントに参加された方に声掛けし、日常的にボランティアとして受け入れている 地域の子育てサークル・ボランティア団体との連携
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	ボランティアを受け入れるための、職員のマンパワー不足、企業等への当法人の認知不足

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

FaSoLabo 京都は、2005年の任意団体設立以降、20年に渡り、食物アレルギーの子供とその家族のQOLの向上およびその社会的理解を広げるべく、事業活動を行っている。

とりわけ令和6年度については、主たる財源となっている受託事業「つどいの広場」(654組、延べ1545人の利用)では、様々な年間講座・イベントが実施され、利用者も昨年度より増えていることを確認した。

次に「社会的理解」分野では、「どれみ隊プロジェクト」が3年目を迎え、小学生や中学生など子どもたちが主体となる活動を積極的に行なっていることを確認した。また、ファイザー株式会社助成による「食物アレルギーの子どもが必要としている子ども視点の自立支援の調査研究」が着実に進んでいることも確認した。その他、第40回日本小児臨床アレルギー学会に参加し、活動紹介ブース出展をしたことも特筆すべきである。

続いて、「支援者支援」分野では、食物アレルギー相談援助研究会が2回開かれたことを確認した。

最後に「当事者支援」分野では、ニュースレターの発行(年3回)、ホームページにおける活動の発信、保護者交流会の開催(年3回)などの取組が行われていることを確認した。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

(1) 収益構造の改善について

財務管理の透明性については、2024年度は680,560円と2年連続で当期正味財産を黒字化できており良い傾向である。一方、次期繰越正味財産額は△561,967円残っている。この額をさらに減らせるよう引き続き創意工夫を期待したい。

(2) 新たな理事構成の準備について

組織体制の状況については、2024年度は職員1名の離職、理事1名の退任があったこと、また新しい職員を迎えたことを確認した。ただし、理事数については、現行の理事数は定款で定める数(5~9名)のギリギリであり、ややリスクがある。現在、候補で名前が挙がっている4名の方には確実に新役員(理事3名、監事1名)となって頂けるよう、交渉を期待したい。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

(1) 安定的な助成金の獲得について

2022 年度は 300 万円を超えていた助成金が、2023 年度は約 240 万円、2024 年度は約 120 万円と毎年減少してきている。一方、業務委託料は例年 700~750 万円程度であり、安定しているものの、大幅な増額は見込めない。については、新しい助成金（2025 年度の活動予算書上は 0 円となっているが）や寄付収入、あるいは事業収入を増やすことが重要である。引き続き安定財源を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。

(2) 寄付金の獲得のための仕組みづくりについて

寄付金については、2022 年度 294,666 円、2023 年度 137,436 円と、2024 年度は 288,386 円とやや安定性に欠ける現状となっている。監事からの指摘もあるように自由に使える資金は組織にとって重要である。新しい寄付金を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。

『評価対象法人記入欄』

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
財務管理の透明性については、2024 年度は 680,560 円と 2 年連続で当期正味財産を黒字化できており良い傾向である。一方、次期繰越正味財産額は△561,967 円残っている。この額をさらに減らせるよう引き続き創意工夫を期待したい。	2025 年度の事業計画では、サポートデスクの事業をつどいの広場事業に組み込むことで、イベント数が減り、支出の削減に繋がり、予算は 754,334 円の黒字を見込んでいる。イベント数は減るが、つどいの広場で食物アレルギーの予防について啓発することで、食物アレルギーの支援をしている団体の役割を果たしたい。
組織体制の状況については、2024 年度は職員 1 名の離職、理事 1 名の退任があったこと、また新しい職員を迎えたことを確認した。ただし、理事数については、現行の理事数は定款で定める数（5 ~ 9 名）のギリギリであり、ややリスクがある。現在、候補で名前が挙がっている 4 名の方には確実に新役員（理事 3 名、監事 1 名）となって頂けるよう、交渉を期待したい。	候補者 1 名については、既に内諾をいただいた。他 3 名については、今後打診する。
2022 年度は 300 万円を超えていた助成金が、2023 年度は約 240 万円、2024 年度は約 120 万円と毎年減少してきている。一方、業務委託料は例年 700~750 万円程度であり、安定しているものの、大幅な増額は見込めない。については、新しい助成金（2025 年度の活動予算書上は 0 円となっているが）や寄付収入、あるいは事業収入を増やすことが重要である。引き続き安定財源を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。	職員体制を考えると、新たに助成金を申請するのは難しい。 また 2025 年度の計画では、サポートデスク事業をつどいの広場事業に取り組むことで、事業費の多くを京都市からの業務委託料で賄う予定であり、助成金の申請は必要ないと考える。

寄付金については、2022 年度 294,666 円、2023 年度 137,436 円と、2024 年度は 288,386 円とやや安定性に欠ける現状となっている。監事からの指摘もあるように自由に使える資金は組織にとって重要である。新しい寄付金を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。

2025 年度は既に阪急阪神ホールディングスの社内寄付により、401,800 円の寄付があった。今後は、ボランティアの協力も得て、イオンのレシートキャンペーンや、H2O の寄付イベント等への参加や、寄付サイトコングラントでの使途を限定した寄付や、会費 + α の寄付がいただけるように活動の周知に努めたい。また、つどいの広場の利用者に当法人が食物アレルギーの支援を行っている団体であり、その活動が寄付で支えられていることを周知し、寄付の増加を図る。

備考（審査委員会のコメント）

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人京都 DARC
評価実施年月日	2025年7月2日
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科教授）
評価対象年度（期間）	2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

(1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目		法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	第1位：自立（生活）訓練事業	40%
	第2位：共同生活援助事業	35%
	第3位：講演事業	10%
	このほかの事業	5%
	主たる事業以外の事業	5%
事業以外（管理部門等）		5%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「ー」を記入

(2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	当事者家族、障がい者支援員、弁護士、市民等
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	年に6回のニュースレター発行。 ボランティアへの参加。 フォーラムや学校講演等の啓発活動の取り組み。 インターネット寄付の導入。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：68名 金額：¥1,092,879
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 地域のイベント参加やボランティア活動、講演活動など、さまざまな取り組みを継続しているものの、実際に施設内で利用者が依存症からの回復に向けてどのような努力を重ね、どのような葛藤と向き合っているのかについては、十分に伝えきれていない、現状がある。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	今年度は、新たな啓発の取り組みとして、小学校高学年や中学生を対象に、「生きづらさとは何か」をともに考える契機となる講演を実施する。これに伴い、より多くの教育関係者に向けて、寄附の協力を呼びかける。

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人數、従事時間数、従事内容など)	(ボランティアの場合 従事人數：4名 従事時間数：48時間 従事内容：イベントでの飲食販売におけるお手伝い)

② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	SNS を用いた情報発信。ニュースレターでの活動報告。社会貢献活動への積極的な参加。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	薬物依存症に対する社会的偏見をなくすこと。薬物依存症への誤解を緩和させる活動を検討し続けること。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

フードバンクの箱詰め等のボランティアや、高校や企業と連携しての活動、京都文教大学学生とのアクセサリー作り、精華大学と連携しての啓発マンガ作り、地域のお祭りに出店しての飲食物の販売など、これまで実施してきた地域活動や普及啓発活動等を引き続き行っている。

また、グループホーム設立時に反対運動が行われた町内会とも交流が再開されている。これはひとえに、京都ダルクが地域で上記のような地道な活動を行い続けてきたことが地域住民に伝わり、認められたことによるものと思われる。

さらに、これまで場所を借りて行っていた畑作業については、新たに農地を購入して農産物を育てようとしており、新規の事業展開がみられる。それにより入所メンバーのプログラムとしてや、作った野菜の販売などを通じて、京都ダルクの活動が活性化されるものと思われる。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

デイセンターやグループホームの運営、各種相談活動、普及啓発講演会、司法施設への講師派遣、京都府・京都市との共同事業の実施、ニュースレター等の発行、地域でのボランティアや農作業体験、施設内外での研修等、各種事業が滞りなく運営されており、組織体制は盤石であるものと思われる。また、財務管理も透明性が維持されており、不正や違反事項は認められない。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

ホームページにアップされている日常紹介動画は、学校での普及啓発にも有効であり、京都文教大学においても学生の京都ダルク訪問に先立って皆で視聴し、体験談と同等の効果を得ることができた。そのため、大学等でのオンデマンド教材としての活用を促進しても良いものと思われる。

また、現在作成中のマンガも、小学校高学年と中学生に加えて、多くの年代への普及啓発に活用できるものと思われる。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
特になし	

備考（審査委員会のコメント）

--

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 手をつないで
評価実施年月日	令和 7 年 8 月 6 日
評価者氏名（職名）	山下 憲昭（大谷大学名誉教授、京都府共同募金会評議員、奈良市地域福祉推進会議座長、滋賀県守山市社会福祉協議会理事、社会福祉法人しみんふくし滋賀理事など）
評価対象年度（期間）	2024 年度（2024 年 04 月 01 日～2025 年 03 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目		法人全体の労力のうち各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：福祉有償運送
		60%
		第2位：フードバンク事業（フードバンク木津川）
		25%
		第3位： このほかの事業
主たる事業以外の事業		0%
事業以外（管理部門等）		0%
主たる事業以外の事業		—%
事業以外（管理部門等）		15%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「ー」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 寄附の呼掛け対象	賛助会員には5年度から、正会員には6年の総会案内時に御願い文書で
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	認定取得直後からホームページで募集しています。 木津川市社会福祉協議会が実施している、「福祉祭り」「加茂ふれあい広場」の啓発コーナーで福祉送迎・フードバンクのチラシと共に寄付金のお願いと優遇税制の説明も行っています。 また、事務所のある市役所加茂支所のNPOの広報用書架にも、事業の案内と共に寄付金のお願い書と優遇税制の説明書も置いています。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：法人2社、個人7名、1サークル金額：179,405円
③ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由>個人の寄付者が7名で9万円を。ホームページから東京の法人が5万円を寄付して頂いたことが増額に繋がった。
④ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	

(2) 寄附以外の支援について

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項目	法人記入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	フードバンク事業に対し、過去4年間、毎年ごみ減量活動としても認められ、毎年30万円の助成金を受けている。(ボランティア従事時間数:541時間。従事内容:集荷及び集荷・出荷時の仕分け、パソコン整理、フードパントリー手伝い、チラシ配布)

② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	福祉送迎用の自前車両を確保するため、助成を行っている企業に申請書を送付している。6年度は京都府の50%助成事業にもお願いし、7月に納車になっている。
※	木津川市に対して、送迎車両のガソリン代の補助をお願いしています。今年度には希望がありそうです。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	府社協の助成金情報により、車両助成の企業に申請をしていますが、送迎車両への助成企業が少なくなっている上に、社会福祉法人優先で助成されている感を持っております。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

1. 活動の意義

①福祉有償運送への取り組みを中心にフードバンク事業にも取り組んでいる等、NPO 法人の意義と役割は木津川市の地域性や家族のありかたを考えるとき、通院支援を中心とした生活の維持、社会参加、高齢者・障がい者の社会的健康の確保など、社会的孤立・孤独の解消に向けた活動においてきわめて重要な役割を担っているものと評価される。

②2024 年度の送迎実績では、送迎回数が前年度を 770 回上回る 2,650 回に達し、送迎距離累計 14,500 キロに及んでいる。送迎用車両は、常時使用が個人持ち込み 4 台を含め 8 台、それでも足りないと時に借りられる車両が 5 台。1 キロあたり 150 円の利用料。

利用の多くは、加茂地区と高の原地域であって、通院への対応が多い。多くの場合、送迎距離が 1 ~ 2 キロの短距離であるが、煩瑣な電話での送迎ニーズの調整（1 件最低 3 回）も含めて、きめ細やかに対応している。また、わずかではあるが、支援学校への送迎もある。

フードバンク配布事業での実績は、地域の 13 団体を通して、6,300 点あまりに及んでいる。

③これまで加茂地域の人びとが中心になって取り組んできているが、これらの課題とニーズは全市的な必要として認識されつつあり、今後、広く周知されていくことと市民の主体的な参加と協力による市民同士の支えあい活動としての発展が期待されている。

2. 住民主体のN P O活動と行政、専門機関団体等との連携

住民主体の事業活動として 2018 年からスタートして以来、木津川市、地域包括支援センター、民生児童委員協議会、木津川市社会福祉協議会、福祉有償運送運営協議会、民間タクシー事業者などと密接な連携をとって運営している。

活動費における補助金の確保の申請作業についても、最大限の努力がみられる。

3. 活動成果の発信

①情報発信に関しては、ホームページの発信が行われており、詳細な活動・運営情報を公開している。さらに活動意義や内容を広く発信していくことが期待されている。

広く市民に親しまれることやわかりやすさを考えるとき、当法人の理念や目標、これまでの取り組みの経緯、活動成果などについて、図表化して示していくなど工夫が必要である。

②なお、当法人の活動の意義や内容を公開していくことの目的の一面は、木津川市の福祉コミュニティの未来型デザインの一翼を担うものであることを示していくものであろう。広く市民の理解と協力をあおぎ、当法人の事業を担ってくれる次世代へのアプローチの一つでもある。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

1. 財務状況の透明性

①このことについては、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録に示されているとおりで、適正に処理されていると認められる。

②しかし、事業活動への所見に記したように、「事業報告等提出書」に加えて、広く市民・地域住民にわかりやすく周知していくための工夫がなされることが望ましい。

2. 組織体制への所見、後継者確保

①当法人の活動は、役員の熱意と会員の支援によって支えられている。

中心的メンバーからは、「いったん始めたからにはあとに引けない」「全市的な広がりも視野に入れなければならない」といった声も聞く。住民から頼りにされ期待されているなかで、活動者の負担も大きくなっている。

②今後の木津川市の地域状況を考えるとき、この事業の必要性はまだ拡大することが予想される。現在、中心になっているメンバーの後継者づくりが最重要課題である。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

NPO 法人の運営に関して、本来、寄付行為による財源確保が望ましい。会員制で取り組む当法人も会員拡大や寄付行為の呼びかけによる収入増額が大事な目標である。

しかし、実際には個々の住民からの寄付には限界がある。事業活動の社会的意義をふまえ、行政からの委託金・補助金をもとめ、あわせて企業等の社会貢献による補助金を確保していくことが重要である。

①2024 年度、経常収益は 760 万円（繰越金 240 万円を含む）に及んでいる。そのうち福祉送迎事業による収入は 374 万円であった。

支出は、実質 520 万円程度の収入に対して、運転者実費弁償 205 万円が中心で、そのあと事務所賃貸料 27 万円、光熱水費 10 万円、車両費 45 万円あまり（車検料、ガソリン代など）、保険料 29 万円あまりとなっている。

③助成金は木津川市から 30 万円、京都府からの福祉車両購入補助金約 45 万円、および寄付金が約 18 万円であった。

530 万円を超える経常費用からみると、助成金・補助金・寄付金の総計は 100 万円に届いていない。木津川市におかれで助成金の増額が難しいようなら、加茂支所内の事務所賃貸料や光熱水費の軽減などに踏み込むべきである。

③木津川市の高齢化率は 25 パーセント程度であって全国平均より低い。同時に、これまでの宅地開発の結果として、高齢者のみの世帯が拡大している。一般に言う「買い物難民」「医療難民」といった移動困難者は確実に増えている。公共交通、コミュニティバスの運行、民間タクシーなどとともに、当法人が運営する福祉有償運送も市民・住民の移動の大事な手段となってきたるものと判断される。

当法人の福祉有償運送は、公共交通の「すきま」を埋めるきめ細やかな取り組み、低額で利用できる工夫に特徴がある。木津川市民や木津川市、京都府などによる支援が期待されている。

«評価対象法人記入欄»

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
法人の事業活動に関する所見 3. 活動の成果の発信 ホームページ上でも、成果について図表化などの工夫が必要	情報の発信のために今年度から発行した「季刊誌」を充実させホームページに掲載します。
法人の組織運営に関する所見 2 組織体制への所見、後継者の確保	③ 後継者の確保の重要性は十分に理解しております。社協役員経験者や民生児童委員に対して常にアプローチを行っています。理事の退任者がある場合も、現在は補充することがそれほど難しい状況ではありません。ただ、今後、送迎利用の受付業務、配車担当業務を有償社員に交代する必要があります。運輸局からの通達で、送迎料金を地域タクシーの50%以下に設定することが80%以下までと緩和されましたので、来年2月に開催される、有償運送運営協議会で送迎料金の改正をお願いする予定です。収益が増えることを前提に、増車や有償社員の採用等順次に検討します。
	④

備考（審査委員会のコメント）

--

この様式について

- 京都府又は京都市の条例指定を受けたN P O法人（特定非営利活動法人）の外部評価を実施する際の基本的な評価項目を提示したものです。
- 所轄庁（京都府又は京都市）に提出された評価結果は、京都府・京都市の審査委員会に報告するとともに、所轄庁において一般に公開します。
- 記入欄の大きさは、適宜調整してください。また、他の評価項目が必要な場合は、適宜項目を追加してください。

記 入 要 領

- ① まず、外部評価を受ける**評価対象法人**が、1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄のうち、「**法人自己評価**」欄に自己評価結果を記入してください。
また、1ページの1（1）イの主たる事業等に割く労力の割合に関する表及び3ページの「**2 法人に対する支援の状況**」の二つの「**法人記入**」欄についても、評価対象法人が記入してください。
- ② その後、**評価者**が1～3ページの「**1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況**」及び「**2 法人に対する支援の状況**」のチェック欄の「**外部評価**」欄（太線枠内）に外部評価結果を記入してください。
また、4ページの三つの所見欄「**3 法人の事業活動に関する所見**」、「**4 法人の組織運営に関する所見**」及び「**5 法人に対する支援に関する所見**」（太線枠内）には、チェックリストの評価項目を含め**評価者**が評価した結果について、それぞれ分けて記入してください。
- ③ 5ページの「**評価対象法人記入欄**」の「**6 外部評価結果への対応状況**」に、外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況について、外部評価を受けた**評価対象法人**が事項ごとに分けて記入してください。